

事業所名：地域密着型特別養護老人ホーム なつぼ

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和 5 年 11 月 18 日(土) 10:00~11:00

参加者

入居者： 0名、家族：3名 地域の代表者：2名

地域包括支援センター： 1名 事業所： 5名

議題 内容

参加者自己紹介、施設長挨拶

感染症対策

10月半ばより、施設内ユニットかもしかにて発熱される方がでてい。嘱託医報告にて経過観察中に血中酸素濃度の低下があり救急搬送となったケースがある。誤嚥性肺炎との診断だったが、同症状の方が3名となり、済生会病院に搬送となった方がヒトメタニューモウイルス感染症と診断を受けた。その後も同症状の方2名がおり、軽症ではあった方もいたが病院受診し入院となっている。合計5名の方が入院となった。いずれの人もウイルス検査をしたわけではないので、他の要因の発熱の可能性もあると思われる。3名は退院され施設に戻っている・1名の方は退院調整中。1名の方は酸素吸入が必要で治療中。いずれの方も宇都宮第1病院で受け入れてもらっている。

感染経路は定かでない、職員にも1名体調不良者がでて同症状であったが回復し勤務している。済生会病院からのウイルス感染報告を受けて、コロナ対応と同程度の感染対策を行い、蔓延防止に努めた。現在は感染者はなく対応も通常になっている。

コロナ感染職員も10月1名の職員であった。在宅利用の利用者様からの感染とみられる。他に感染拡大はなく、職員も復帰している。コロナ感染症について5類移行に伴い危機感も薄れてきている様子です。

1、地域密着型特別養護老人ホームなつぼ 運営状況。

食事形態の特徴について

別紙資料にて説明。食形態、トロミ形状、食事提供の考え方・方針について説明。

参加者にペースト食の主食粥ミキサーと副食卵豆腐ミキサーを試食頂いた。

→違和感はなかった。食べられなくなってきた人に工夫して食べてもらえる
取り組みは良いと思います。

→見た目は悪かったが、副菜は塩味が強かった、
塩分は自分も気を付けているので濃いかなと思った。

→思ったよりソースのようで食べやすかった。

→考えて作られていて大変さを感じた。

塩味も食欲もわくと思うので全体でバランスが取れていればよいかと思う。

→おかゆはそっけないかなと思ったが、割と味はあった。

誤嚥性肺炎の診断もあったため、施設での食事提供についての状況報告となった。

報道では食中毒のニュースも上がっている。なつぼの食事厨房業務は外注となっている。

厨房業者内部業務により定期的、外部職員が来て提供方法の確認はしている。

利用者の方の状況に合わせて、食事を楽しみにしていただけるように努めたい。

続

議題 内容

2、皆様からのご要望、ご意見、お知らせしたい情報等

地域包括

：相談機関として受け付けているが相談は増えている。
入居施設まで直接つながることはあまりないが、
地域会議等で施設の様子がわかることは、地域連携の観点でありがたい。

自治会、地域

：9月16日、体育祭がコロナで中止になっていたが今年は開催できた。
かわちふるさと祭りの開催があった。施設としては外出行事として利用者様と参加した。
太鼓演奏について涙して喜ばれた方もいて、地域参加の観点からもよかったと思う。

家族

：コロナ対応での制限はまだ継続でしょうか？
→県ホームページなどから流行状況を確認している。
現状は面会制限ない状態には戻せていない。
ヒトメタニューモウイルス感染症の際の救急搬送はどういった状況だったのでしょうか？
→38度台の発熱あり、血中酸素濃度が急に下がる状況だった。
(嘱託医でコロナ・インフル・RSウイルスの3つの検査は陰性だった状況で経過観察をしていた。)

3、その他

- ・11月に嘱託医によりコロナウイルスワクチン、インフルエンザワクチンを実施している。
带状疱疹のワクチンも接種できるので希望があれば伝えて頂きたい。
- ・ふれあいホールの方の貸し出しをコロナ禍中止していたが再開します。